

## 第 105 回 経営協議会議事要録

日 時：令和 8 年 1 月 22 日（木） 15：00～17：10

場 所：本部管理棟 5 階会議室及び Microsoft Teams の「経営協議会」チーム

出席者：受田学長、遠藤理事（総務・企画・危機管理担当）、津江理事（教育担当）、本家理事（研究・医療・評価・IR 担当）、堀見理事（地域連携・広報・ウェルビーイング担当）、大淵理事（財務・労務管理担当）、花崎医学部附属病院長  
池上委員、岩瀬委員、河合委員、北委員、野並委員、柳原委員、山崎委員、夕部委員

欠席者：弘瀬委員

陪席者：岡谷監事、中澤監事、総務部長、財務部長、研究国際部長、学務部長、医学部・病院事務部長

### 〔配付資料〕

- 資料 1 国立大学法人高知大学の中期計画新旧対照表（案）
- 資料 2-1 令和 7 年度上半期の資金運用状況について
- 2-2 令和 7 年度上半期資金運用状況報告（詳細）
- 2-3 令和 7 年度資金運用に係るリスク状況について
- 資料 3 予算伝達について
- 資料 4-1 地域協働学部パブリックイノベーション学科（仮称）新設にかかるパンフレット
- 4-2 国立大学法人高知大学設置計画に関わる組織の移行表（案）

議事に先立ち、第 104 回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

### 〔議題〕

1. 中期計画の変更について  
本家理事から、資料 1 に基づき、中期計画の変更について説明が行われた。審議の結果、承認された。
2. 令和 7 年度上半期の資金運用状況について  
大淵理事から、資料 2-1～2-3 に基づき、令和 7 年度上半期の資金運用状況について報告が行われた。
3. 予算伝達について  
大淵理事から、資料 3 に基づき、予算伝達について報告が行われた。
4. その他
  - (1) 地域協働学部新学科設置の計画について  
遠藤理事から、資料 4-1、4-2 に基づき、地域協働学部新学科設置の計画について説明が行われ、設置計画書一式の準備が出来次第、経営協議会書面会議を開催する予定である旨、報告が行われた。  
委員から、今後 18 歳人口が減少すること、また、大学の規模適正化が求められている状況を踏まえると、組織改革を行うにあたっては、より一層経営的視点を持って検討してもらいたい旨意見が出された。

(2) 人事院勧告への対応にかかる経営協議会書面審議のお願いについて

大淵理事から、人事院勧告への本学の対応について内容が固まり次第、経営協議会書面会議を開催する予定である旨、報告が行われた。

(3) Kochi Open Innovation Days、高知大学水産業・農業科学共創施設開所式ならびにキャンパスツアーのご案内について

本家理事から、Kochi Open Innovation Days、高知大学水産業・農業科学共創施設開所式ならびにキャンパスツアーのご案内について報告が行われた。

## 5. 大学運営に関する意見交換

学長から、「第5期中期目標・中期計画策定に向けて」をテーマとする意見交換の概要について、また、策定に向けて検討している高知大学ランドデザイン2040（案）について説明が行われた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・高知大学として、「養成する人材像」をより一層明確にすることが大事ではないか。
- ・「辺境の地から変革を起こす」というキーワードには共感するが、高知大学独自の言い回しができると、より良いと思う。
- ・デジタル技術の活用が求められる一方で、高知には農地等の一次産業のフィールドがある。こういった地の利を生かした実践的な教育を行い、ポストAI時代を戦ってほしい。
- ・本ランドデザインの内容における世界的な視点で書かれている部分は抽象度が高く、大学として何を実現するかのリアリティが不足していると感じるため、高知県の地域課題解決と絡めた実効性のある戦略を描けるとより良くなるのではないか。
- ・県内で話していると、高知大学の卒業生は責任感があり、人格者として育ってきているという評価が一定あるように感じる。そういった人間性の教育についても触れてはどうか。
- ・高知県と高知大学がこれまで積み重ねてきた良いものを生かして、これからのAI時代に向けて、基礎学力と感性の両方を備えた人材を育てていくことが大事ではないか。

以 上